

TURN LAND「手のプロジェクト 2020 —綿花から糸へ..—」

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

本ガイドラインは、「手のプロジェクト 2020 —綿花から糸へ..—」の開催において、プログラムを実施するにあたり、新型コロナウイルスの感染予防対策としての基本事項を整理したものです。東京都感染拡大防止ガイドラインを遵守してプログラムを行い、本ガイドラインの内容は、今後、感染拡大の動向や専門家の知見をふまえ、適宜改訂していきます。

1. 施設スタッフ(講師を含む)と参加者の感染予防対策について

- 会場ではマスクの着用、咳エチケット、手洗い、手指消毒を徹底する。
 - プログラム実施日の朝に、施設スタッフおよび参加者は必ず検温を行う。
 - 当日、以下の症状・条件に一つでも当てはまる人は参加を見合わせる。
 - 発熱(37.5 度以上、平熱比+1 度以上)・咳・下痢等の症状・息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ等がある場合
 - 2 週間以内に発熱(37.5 度以上、平熱比+1 度以上)の症状がある場合
 - 新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触(最終接触から 14 日間以内)がある場合
 - 同居家族や身近な知人が、新型コロナウイルス感染が疑われる(37.5 度以上もしくは平熱比+1 度以上の発熱・咳・下痢等の症状がある)場合、および過去 14 日以内に海外から帰国した者
- ※持病のある人は、感染した場合の重症化リスクが高いことから、事前に事務局にその旨を相談すること。

2. 会場について

- 厚生労働省および保健所等が定める予防対策の確認を済ませている。
- プログラム開催時は、使用する施設管理者が定める施設の消毒や感染対策を徹底する。
- 非接触型の体温計、マスク、消毒液等を常備する。会場の入り口で検温を行う。
- 定期的に(1 時間に 1 回程度)会場や休憩室等の換気を行う。
- 密にならない参加人数を設定し、プログラム実施中は対人間隔を確保する。
(2 メートルを目安に、最低でも 1 メートル)
- 対面で食事・会話をしないようにする。
- 共用タオルを使用しない等、衛生管理を徹底する。
- 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒をする。

- 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示する。
- 清掃・消毒・ごみ回収は手袋を着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底する。
- 大声を出さない等の注意事項や参加者が順守すべき事項は、会場内において、各所への掲示やアナウンス等で周知する。
- 上記以外に、他の業界団体のガイドラインも参照しながら、取組を実践する。

<http://www.japan-sports.or.jp/>

3. 情報管理体制について

- 当日プログラムの責任者を明確にする。
- 施設スタッフおよび参加者の氏名および緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。
- 取得した個人情報は施設にて3週間適切に管理・保管する。
- 施設スタッフおよび参加者に感染が疑われる場合は保健所の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。また、参加者に対しては、取得した個人情報を必要に応じて保健所等の公的機関へ提供することを事前に周知する。

4. 感染が疑われた場合

- 施設スタッフおよび事業従事者並びに参加者より感染の連絡があった場合、事業を一時的に中断し、施設は直ちに、施設管理者、参加者、NPO 法人アーツエンブレイスの担当者に連絡する。
- 感染が疑われた参加者と接触の可能性のあるスタッフは、自宅待機とする。
- プログラム終了後に、体調の不良を感じた参加者がいた場合には速やかに NPO 法人アーツエンブレイスに連絡する。